

「まちかどミーティング(地域巡回)」概要 (常盤の里地域センター)

日時・場所 平成 21 年 7 月 24 日(金) 午後 7 時 ~ 8 時 10 分 常盤の里交流センター
市民参加者数 34 人
市側出席者 市長・企画部長・地域情報課長・同課広報広聴係長・同係主査
財政課財政係長・市民保険課国民健康保険係主査

市長市政報告 ・ 7.18 ~ 19 豪雨被害の見舞いと対策検討
(19:00 ~ 19:35) ・ 「協働のまちづくり」と総合計画 「 “ わ ” のまち能代」の意義
・ 「バイオマスタウン構想」と「農業政策」
・ 「リサイクルポート」と「県北エコタウン構想」
・ 市役所変革における「笑顔」と「あいさつ」・「感謝と思いやり」

市民との対話 Q 「大柄の滝」階段の修理について、市の考え方を聞きたい。全面改修が無理
(19:35 ~ 20:10) なら部分修理でもいいが...

A 数度足を運んだが、階段は腐食が激しく、部分補修はできない状態。新設するには、費用が数千万かかる。下からの遊歩道整備等代替案も検討したが、財政逼迫し厳しい現実。他の妙案も見あたらず、現段階ではどうにもできない。

Q 「常盤ときめき隊」に、市や地域などから協力をいただき感謝する。
「毘沙門憩いの森」を拠点に、整備等進めたいが、利用者数が伸び悩んでいる。シャワー・水洗トイレ設置を望む声が多い。しかし、簡易シャワーは自分達で可能だが、水洗トイレは市で設置してもらえないか。

A 様々な活動等で、まちづくりに貢献していただき、感謝している。
市が地域活性化を図る中で「下水」は重要なテーマ。「毘沙門憩いの森」の整備で、水洗化は大事な要素。各施設改修の優先度を考慮し検討したい。
検討内容...従来から、植樹やウッドチップ歩道の整備等行っているが、トイレの水洗化も、衛生的環境も改善されるので、今後検討していく。

Q 大柄地区に未舗装の市道が 5 ~ 600 ㍍ある(館下線)。順次整備してほしい。

A 後で確認する。

検討内容...自治会長と現地立会をしたが、通行量も少なく、緊急性・必要性の面からも難しい。

Q 農家での市税延納制度がなくなるようだが、継続してほしい。

A 「延納」は二ツ井地区にはなく、他の実施市町村も少ない。制度の一本化で「廃止」検討中。要望は担当に伝える。(本年 3 月に、23 年度から廃止する旨の文書を利用農家に郵送していた。)

検討内容...本制度は、旧能代地域でのみ行われてきたもので、合併協議で「5 年間の猶予期間の後廃止する」としており、平成 23 年度から廃止する。

今後、各納期毎の納税が厳しい方々については、十分な納税相談を行い、実情にあわせた対応が可能となるよう取り組んでいく。

9 月議会一般質問答弁で、上記の内容を答弁している。

Q 平成 19 年水害後、『各地区の「防災マップ」の整備を』旨要望したが、その後、話もなく今回の水害にあった。どのような状況だったのか。

A 今年度中に、市全体の「防災マップ」(ハザードマップ)を作成し、配布したい。

A 今回の災害の教訓は、最後は観測機器ではなく「目視」に頼るしかないこと。各地区の実情は地区の皆さんが一番わかっている。「ここの水位がこうなったので危険だ」と連絡を取り合う仕組みを工夫しなければならない。

検討内容...今年度作成し、全戸配布する「洪水ハザードマップ」を家庭内に備え付け、活用してほしい。

地区ごとの「防災マップ」は、地区の現状は各地区の皆様が一番分かり、地域の連携や連絡体制を構築することが重要であり、協働で作成することが最も効果的。

今後、希望する地区から「防災マップ」づくりに協力していきたい。

Q 廃小学校について、山谷地区では、当初地区公民館として活用したが、今は財政課管轄で、屋根のペン代も出してもらえない。同じ轍を踏まないためにも、二ツ井地区の廃校の利活用の考え方を教えてほしい。

A 現在、各校舎の利活用について、各地区住民と意見交換を行っており、地区の希望や市の考え等含めて協議中。もう少し時間はかかる。